

平成25年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
香芝市	香芝市立旭ヶ丘小学校

① 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

- ・ 希薄になりがちな対人関係や低下しがちな地域の教育力を高めるために、学校・地域が一体となって人の繋がりを深める取組を進める。そのことを通して子どもたちのより豊かな成長につなげる。

② 取組の概要

《 組織づくり 》

本事業を推進していくにあたって、現在の学校支援活動内容をもとに、体制を整えるために組織づくり（組織図作成）を行った。

《 学校支援 》

◆ おひさま隊（旭ヶ丘小学校支援ボランティア組織）

保護者の方々を中心として結成された学校支援ボランティア組織。園芸・清掃・学習にと学校を支援していただいている。自治会への回覧等で、地域へも協力依頼を呼びかけていただいている。

【おひさま隊の主な支援活動】

○ 園芸活動（通年）

学校の正門から図書館前等の花壇の草花の手入れをしていただいている。通年活動としていただいているため、学校はいつもきれいな花であふれ、子どもたちだけでなく来校者からも好評をいただいている。児童の委員会活動とも連携し、園芸委員会担当者と打合せを行っている。



○ 清掃活動（通年）

学期末に行う大掃除に合わせたり、遠足等で児童が不在だったりするときに活動いただいている。児童に掃除の仕方を教えていただいたり、普段は行き届かない場所をきれいにしていただいたりしてくれている。



○ 学習支援（家庭科）

家庭科の裁縫に関する単元時に児童への技術面での支援をいただき、スムーズに授業が進められたり、目の前で行い方を見せてもらえたりするため、児童にとっても、担当教員にとっても大きな支援となっている。支援がより効果的なものとなるよう各学期ごとに家庭科専科担当教員と事前打合せや反省も行っている。



◆ 生け花ボランティア（月3回程度）

保護者の方に、玄関や光の庭に花を生けていただいている。季節感があり来客者からも大変好評である。



◆ 学生ボランティア

教育実習生であった本校卒業生3名に、学習支援として関わっていただいている。普段の授業だけでなく、冬休みには、4年生～6年生を対象とした「算数教室」を中心となって開催し（児童116名参加）、児童の学力向上に向けて貢献してくれている。



冬休み算数教室の様子

◆ 地域老人会との交流

地域の2団体の老人会と、1年生と6年生が毎年交流している。1年生は生活科、6年生は、家庭科の学習の一環として行っている。若い世代が多い地域にとってお年寄りとの交流は児童に無形の学びを提供して下さるものである。老人会の方々から「子どもたちとの遊びや学習は、自分たちにも元気がもらえるので毎年楽しみです。」「地域でも、声をかけてくれる子もいるからうれしいですよ。」と好評である。

◆ 登下校の見守り活動

現在、登下校の見守りは、PTA、自治会、地域安全推進委員、民生委員の方々に行っていただいている。できるだけ重なるの無いようにとお互いに配慮しながら活動していただいているが、コミュニティ協議会において、今後その行い方について話し合うことを確認している。

《 学校コミュニティ協議会 》

本年度は、1回しか開催することができなかったが、関係機関へ本事業の趣旨や学校の取組を理解していただいたり、地域での児童の様子や児童が地域とどのように関わっているかということを確認し、大変意義深いものがあった。